

東濃特別支援学校 ちょキ☆

ちょキ☆とは……

「ちょっとしたアイデアで、子どもがキラリ☆」

・・・・・・・・略して「ちょキ☆」です。

ほんの少しのアイデアで、子どもたちが抱える苦手感を「できた！」に変え、生き生きと学習や生活に向かっていけるように、東濃特別支援学校の先生たちは日々考えています。子どもたちの「キラリ☆」と輝く姿を目指して作成した教材・教具の一部を紹介させていただきます。

●ちょキ☆

今回は、

「おいしいおにぎりどうぞ」

「券売機」

「キャッシュレジスター」

の、教材教具の工夫をご紹介します。

教材名：おいしい おにぎり どうぞ

対象のお子さん

- ・食べ物に興味のある子
- ・手先を使った細かい動きが苦手な子

材料

- ・フェルト
- ・スナップボタン
- ・ボタン

使い方

- ・ボタンをつまんで、ボタン穴にボタンを通す。
- ・好きな具材を選びスナップボタンでとめる。

<指導方法の例>

- ・大きいボタンから練習する。
はじめは子どもの手を取って一緒に行う。
穴にボタンを半分入れ続きを子どもが行う。
一人で行う。
- ・大きいボタンに慣れてきたら、具材(スナップボタン)で練習する。

市販でも見られる指先のトレーニングにもなる教材です。裁縫の得意な先生の丁寧な手作りです。楽しみながら、学習活動できる、児童の実態に合わせてジャストフィットなボタンの大きさ、おにぎりの大きさに加工できる！！ということで、他の先生方にも好評でした。



※ボタンの誤飲に注意！

児童生徒の様子

- ・たくさんの具の中から、「どれにしようかな？」と楽しみながら選んでいた。
- ・ボタンだけでなく、スナップボタンの細かい指の動きもひとつひとつゆっくりと行うことができた。

写真

どの具に
しようかな？



具は、6種類！
(スナップで着脱できるように工夫されています)
うめ、エビフライ、煮卵、ツナ、鮭、いくら

教材名： 券 売 機

対象のお子さん

- ・ 高等部生徒

材料

- ・ プラダン、テープ、紙、絵の具、カッター
- ・ iPad (keynote)

使い方

- ・ 作った券売機に iPad を取り付ける。
- ・ keynote を開き、券売機のデータをスタートさせる。
- ・ 値段などのボタンをタッチすると対応したスライドに進む。
- ・ 切符やおつりは裏から教師が手動で出す。



児童生徒の様子

- ・ 本物とほぼ同じに作ってあるため、切符を買う練習を実践的にできた。
- ・ 音もついているため楽しんで学習ができた。

写真



教材名： レ ジ

対象のお子さん

- ・平仮名と数字を読むことができ、買い物学習や作業販売会などで、会計をする生徒

材料

- ・段ボール
- ・黒テープ
- ・黒画用紙
- ・iPad (レジスター)

使い方

- 準備：①上部の空白部分に iPad を差し込む。
②下部に模擬紙幣や模擬貨幣を入れる。

- ・iPad アプリ「レジスター」を起動させる。
- ・商品に書いてある金額を見て、同じ金額のボタンをタップする。
- ・お客さんからもらった金額を入力する。
- ・お客さんからもらったお金をレジに入れる。(おつりがあったら渡します。)

児童生徒の様子

- ・「レジスター」では、手順が表示されるので、教師の支援なしでも会計をすることができた。
- ・模擬貨幣を入れる場所を大きめにすることで、手先が不器用な生徒でも、貨幣を取り出したり入れたりすることができた。

今回は、文字や数字が読める生徒を対象に「レジ」を使用した。
買い物学習を行うにあたって、貨幣を種類ごとに入れる教材があると良いと考えて、製作した。

数学の学習の中で、この教材を活用しました。硬貨の画像（色や大きさも本物に忠実な画像）が、数字と一緒に表示される、便利なアプリもさることながら、実際にレジの係の人になりきって友達と協働学習できるところが好評でした。模擬貨幣が大きめの枠に入っていることで、硬貨が取り出しやすく、硬貨の計算に集中して学習活動できていました。



写真

